

平成28年度「高校生社会参加促進事業」の取組概要

番号	5	学校名	奈良西養護学校
----	---	-----	---------

1. **取組名** しごとの授業「農園芸班」
地域の方々と共に「しごと」をしよう

2. 活動内容

本校は、2008年に旧富雄高校の校舎の跡地にできた学校である。学校ができてから、「ここであってよかった奈良西養護学校に！」をキャッチフレーズに地域に根ざした学校をめざしてきた。高等部では、自治会主催のふれあい文化交流会に参加したり、地域のいろいろな施設に出向いて活動する地域学習を行ったりして地域とのつながりを大切にしている。

高等部の授業には、将来の仕事や生活に必要な力を高める学習として「しごと」の時間がある。今年、農園芸班が中心となって、本事業に参加して、地域で農園芸に詳しい方々から指導を受けたり、一緒に作業をしたりしながら学習を進めていくようにした。

9月より地域から2人の農園先生が協力してくださることになり、手本を示してもらいながら作物の植え付けなどの作業を行った。また、毎回、2、3人の地域ボランティアの人も加わっていただき、一緒に作業を進めることができた。

【主な活動】

・野菜の栽培(白菜、大根の植え付けと収穫、ニンニクと玉ねぎの植え付け)白菜、大根などの野菜の栽培をする作業の中で、生徒たちに道具の扱い方、植え方など基本から教えてくださった。白菜栽培では、ポットへの種まきの仕方から、生長に伴う間引きの仕方も教えてもらった。畑への植え付けでは、鍬の持ち方から畝作りも踏まえて一つひとつ丁寧に教えてもらうことができた。



・サツマイモ掘り大会

今年も近隣地域の保育園児を招待してサツマイモ掘り大会を11月に実施し、29名の園児が期待をもって来てくれた。当日は、生徒たちがスタッフとして園児たちを案内し、スコップを手渡すなど大活躍であった。



・収穫祭

農園先生やボランティアの方々への感謝をこめて、収穫した白菜、大根を使って豚汁を一緒に作って食べた。

3. 成果と課題

いろいろな作業と一緒に取り組むことで、そのボランティアの方々とは仲良くなり、一緒に活動することを楽しみにする生徒も出てきて、ボランティアさんとの仕事に張り切って取り組む生徒もいた。また、農園先生やボランティアの方からも、「農作業なら私にもお手伝いできるかなあというくらいの気持ちで参加しましたが、参加するごとに、生徒さんとも顔見知りになり、一緒に汗を流すことが楽しみになりました。」といった感想を聞かせてもらった。

今後も工夫を重ねながら引き続き、「地域と共にある学校づくり」を進めていきたいと思う。